

小川町の特性を  
みんなで見つめ直したい



山口勝士 議員

町政

# 「まち・ひと・しごと創成会議」小川町のこれからは 全庁的に取り組んでいきます

**答弁** 政策推進課長  
本年（平成26年）9月、国の「まち・ひと・しごと創生本部」が基本方針を発表しました。当町も、国の策定する「長期ビジョン」（50年後に人口1億人程度の維持目標）と「総合戦略」を受け、平成27年度中に、「地方人口ビジョン」と「地方版総合戦略」を策定予定です。

**質問** 国の「まち・ひと・しごと創生本部」の施策の今後と、地方版総合戦略策定に向けて、当町の準備・心構えは。

今回の政府の施策は、当町の「少子高齢化・人口減少の克服」に向けたチャンスと捉え、国・県の情報収集や、人口動向分析・将来人口推計や課題の抽出に、全庁的に取り組んでいきます。

**質問** ユネスコ登録から町の活性化に

**質問** 細川紙のユネスコ文化遺産登録。町の活性化につ

**その他の質問** ◎子ども子育て新制度について

なげる、具体的な展開手立ては。  
**答弁** 産業観光課長  
技術の保護・伝承はもちろんのこと、小川和紙全体の需要と生産の拡大、町全体の活性化や観光の振興につなげていきたいと考えています。



まち・ひと・しごと創生本部が設置

議員提出議案第2号

## 小川町地酒等による乾杯の推進に関する条例制定について



### 小川町地酒等による乾杯条例

「和食」が平成25年に、そして「和紙：日本の手漉き和紙技術」が平成26年にユネスコ無形文化遺産に登録されました。こうして世界的に「和の文化」へ注目が集まっている中、当町でも、和の文化や伝統は、歴史上でも非常に重要な役割を果たしてきました。それは、鎌倉時代より交通の要衝として栄えた小川町にヒト・モノ・カネが集まり始めてからのことで、細川紙をはじめとする小川和紙・絹・建具などの商いのために、毎晩酒宴が開かれ盛大に行なわれたとのこと。さらには、鉄道誘致にも一役買ったとも言われています。

乾杯は、祝いの時、喜びの場には欠かせない日本の文化です。この条例では、地元小川町で生産される日本酒・焼酎・ビール・ワインその他飲料による乾杯を推進することにより、地酒等に焦点を当て積極的な普及を図るとともに、町内の酒造業その他関連産業の発展、地産地消の促進及び郷土を愛する社会的機運の醸成のために、全会派・全議員一致のもと提案し、全会一致で12月12日に可決制定しました。

# 町民の声を町政に

## 一般質問席

### 町政をただす

一般質問とは、議員が役場の仕事について、町長の考えや意見を求め、事柄をただしたり、議員や町民の意見などを述べることをいいます。議員1人の持ち時間は75分に定めており、議会日よりでは、このやりとりを要約して報告しています。

今議会では、10人の議員が一般質問を行ないました。

チャンスを生かし、  
夢を現実に！



戸口 勝 議員

まちづくり

## 小川町駅北側の開発は最後のチャンスだと考えています

**質問** 北口の開設は。  
**答弁** 建設課長 小川高校に道路用地と北口広場用地の提供を交渉しています。道路計画は、車道幅員6・5メートル、歩道幅員2メートルです。また、北口広場については、小川高校の体育館脇に考えています。

**質問** 都市ガス導入から見える町の方向性  
**質問** プロパンガスを取り扱い、生計を立て、町へ納税をしている事業者がい

**質問** 一部の学校で、児童生徒数が多く、その他は少ない。全体的な均衡化を図るために、緩やかな学校の区変更は考えていないのか。

**質問** 一部の学校で、児童生徒数が多く、その他は少ない。全体的な均衡化を図るために、緩やかな学校の区変更は考えていないのか。  
**答弁** 学校教育課長  
慎重に検討したいと思いますが、ご指摘のとおり児童生徒数の減少により、さまざまな教育課題が生まれています。柔軟に見直しを図っていくことも必要と考えます。

**答弁** 共施設の空調設備では、可能な限り都市ガスを利用したい。しかし、町全体のエネルギー施策の方向性は示されており、今後、関連業界の皆様を含めての議論が進められると考えています。

**その他の質問** ◎企業誘致の対応について



小川町駅